

年度 2007 学期 前期	曜日・校時 火2 / 木2 / 木3	必修選択 必修	単位数 1
授業科目/(英語名)	中国語 Chinese		
対象年次 1年次	講義形態 演習	教室	
対象学生(クラス等)	火2:E7 / 木2:T一 / 木3:K26	科目分類 外国語科目(中国語)	
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスパワー 担当教員:王 桂紅 / Eメールアドレス: /研究室:非常勤講師控室 /オフィスパワー:質問があれば授業前後の教室にいる間に聞いてください。			
担当教員(オムニバス科目等)			
<p>授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標</p> <p>授業のねらい:中国語でコミュニケーションするための基礎的能力を着実に身につけてもらうことがこの授業のねらいです。</p> <p>授業方法:単語や文法について説明するとともに、学生には単語や本文を読んだり練習問題に答えてもらったりしながら授業を進めていきます。</p> <p>授業到達目標:この授業では、次のことができるようになることを目標にします。 ピンインを見て正しく発音することができる。 授業で学んだ文法を用いて簡単な文を作ることができる。 授業で学んだ文法を用いて簡単なあいさつや自己紹介ができる。 短い文章を読んで内容を把握することができる。</p>			
<p>授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む)</p> <p>授業内容(概要)</p> <p>中国語 は中国語学習の最も基礎となる授業です。発音をあらわすピンインを正確に理解するとともにそれを正しく発音できるようになること、基本的な単語や文の構造・文法を理解することをめざして、教科書に沿って授業を進めていきます。</p> <p>第1回 オリエンテーション 第2回 発音 単母音 四つの声調 軽声 第3回 発音 複合母音(二重母音, 三重母音) 第4回 発音 子音 第5回 発音 n ngをもつ母音, 簡単なあいさつ 第6, 7回 「自己紹介」 1. 人称代名詞 2. 名前のたずね方, こたえ方 3. “是”構文 第8, 9回 「私は大学生です」 1. 疑問詞を使った疑問文 2. 副詞“也”“都” 3. 助詞“的”の用法 第10, 11回 「私たちの学校」 1. 指示代詞 2. 「存在」を表す動詞“有”“在” 3. 方位詞 第12, 13回 「私の家族」 1. 「所有」を表す動詞“有” 2. 家族の人数と構成のたずね方, こたえ方 3. 年齢のたずね方, こたえ方 4. “量詞”(1) 第14回 復習(一) 第15回 定期試験</p>			
キーワード			
教科書・教材・参考書	教科書:劉愛莉・連清吉著『実用中国語10課』白帝社 辞書:『中日辞典』小学館(他の辞書も可)		
成績評価の方法・基準等	定期試験(70%), 授業中不定期に行う小テストの成績(30%)。ただし、授業参加の状況が悪い場合は成績をつけません。		
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ / 学習・教育目標			
備考(準備学習等)			